

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分
 【発行日】平成 29 年 7 月 20 日 (2017.7.20)

【公開番号】特開 2016-155613 (P2016-155613A)
 【公開日】平成 28 年 9 月 1 日 (2016.9.1)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-052
 【出願番号】特願 2015-32529 (P2015-32529)
 【国際特許分類】

B 6 6 B 5/22 (2006.01)

【F I】

B 6 6 B 5/22 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 8 日 (2017.6.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

乗りかごが規定の速度を超えたときに前記乗りかごを停止させる非常止め装置において

、

回動軸を有する一対のアーム部材と、

前記一対のアーム部材の一端部の間に配置され、前記乗りかごが規定の速度を超えたときに、前記乗りかごが摺動するガイドレールを挟持する一対の制動子と、

前記一対のアーム部材における一端部と反対側の他端部の間に設けられる付勢部材と、

前記回動軸を介して前記一対のアーム部材を回動可能に支持する枠体と、

前記回動軸を前記枠体に回動可能に取り付ける固定機構と、を備え、

前記固定機構は、

前記枠体に固定される軸受け部材と、

前記軸受け部材の筒孔と前記回動軸との間に介在され、固定ボルトを介して前記回動軸を前記軸受け部材に固定する固定部材と、を備え、

前記固定部材及び前記回動軸は、前記軸受け部材に回動可能に支持される

非常止め装置。

【請求項 2】

前記固定部材は、

前記回動軸の外周部に装着されるインナーリングと、

前記インナーリングに装着され、かつ前記軸受け部材の前記筒孔と前記インナーリングの間に介在される OUTER リングと、を有し、

前記インナーリングと前記 OUTER リングは、前記固定ボルトを締結することで、前記回動軸及び前記軸受け部材に圧接される

請求項 1 に記載の非常止め装置。

【請求項 3】

前記インナーリングと前記 OUTER リングは、くさび状に重なり合う

請求項 2 に記載の非常止め装置。

【請求項 4】

前記枠体には、前記ガイドレールが挿通する切り欠き孔が設けられ、

前記切り欠き孔と前記ガイドレールの間隔は、押圧される前の前記ガイドレールと前記

制動子との間隔よりも狭く設定される

請求項 1 に記載の非常止め装置。

【請求項 5】

昇降路内を昇降動作する乗りかごを備えたエレベータにおいて、

前記乗りかごが摺動するガイドレールと、

前記乗りかごの下部に設けられ、前記乗りかごが規定の速度を超えたときに前記乗りかごを停止させる非常止め装置と、を備え、

前記非常止め装置は、

回動軸を有する一対のアーム部材と、

前記一対のアーム部材の一端部の間に配置され、前記乗りかごが規定の速度を超えたときに、前記ガイドレールを挟持する一対の制動子と、

前記一対のアーム部材における一端部と反対側の他端部の間に設けられる付勢部材と、

前記回動軸を介して前記一対のアーム部材を回動可能に支持する枠体と、

前記回動軸を前記枠体に回動可能に取り付ける固定機構と、を備え、

前記固定機構は、

前記枠体に固定される軸受け部材と、

前記軸受け部材の筒孔と前記回動軸との間に介在され、固定ボルトを介して前記回動軸を前記軸受け部材に固定する固定部材と、を備え、

前記固定部材及び前記回動軸は、前記軸受け部材に回動可能に支持される

エレベータ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決し、本発明の目的を達成するため、本発明の非常止め装置は、乗りかごが規定の速度を超えたときに乗りかごを停止させる非常止め装置である。非常止め装置は、回動軸を有する一対のアーム部材と、一対の制動子と、付勢部材と、枠体と、固定機構と、を備えている。一対の制動子は、一対のアーム部材の一端部の間に配置され、乗りかごが規定の速度を超えたときに、乗りかごが摺動するガイドレールを挟持する。付勢部材は、一対のアーム部材における一端部と反対側の他端部の間に設けられる。枠体は、回動軸を介して一対のアーム部材を回動可能に支持する。固定機構は、回動軸を枠体に回動可能に取り付ける。また、固定機構は、軸受け部材と、固定部材と、を備えている。軸受け部材は、枠体に固定される。固定部材は、軸受け部材の筒孔と回動軸との間に介在され、固定ボルトを介して回動軸を軸受け部材に固定する。そして、固定部材及び回動軸は、軸受け部材に回動可能に支持される。